

## 別添2 保育所における消毒の種類と方法

### ＜消毒薬の種類と用途＞

保育所において消毒に使用される消毒薬の種類と用途については表3を参照すること。

表3 消毒薬の種類と用途

薬品名	塩素系消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水等）		第4級アンモニウム塩（塩化ベンザルコニウム等）※1 逆性石けん又は陽イオン界面活性剤ともいう。	アルコール類（消毒用エタノール等）
	次亜塩素酸ナトリウム	亜塩素酸水		
消毒をする場所・もの	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理及び食事に関する用具（調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等）</li> <li>室内環境（トイレの便座、ドアノブ等）</li> <li>衣類、シーツ類、遊具等</li> <li>糞便や嘔吐物・排泄物が付着した箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理及び食事に関する用具（調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等）</li> <li>室内環境（トイレの便座、ドアノブ等）</li> <li>衣類、シーツ類、遊具等</li> <li>糞便や嘔吐物・排泄物が付着した箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指</li> <li>室内環境、家具等（浴槽、沐浴槽、トイレのドアノブ等）</li> <li>用具類（足浴バケツ等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指</li> <li>遊具</li> <li>室内環境、家具等（便座、トイレのドアノブ等）</li> </ul>
消毒の濃度	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.02% (200ppm) 液での拭き取りや浸け置き</li> <li>糞便や嘔吐物・排泄物が付着した箇所：0.1% (1,000ppm) 液での拭き取りや浸け置き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.05% (500ppm) 液での拭き取りや浸け置き</li> <li>糞便や嘔吐物・排泄物が付着した箇所：0.2% (2,000ppm) 液での拭き取りや浸け置き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.1% (1,000ppm) 液での拭き取り</li> <li>食器の漬け置き：0.02% (200ppm) 液</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原液（製品濃度 70～80%の場合）</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸性物質（トイレ用洗剤等）と混合すると有毒な塩素ガスが発生するので注意する。</li> <li>吸引、目や皮膚に付着すると有害であり噴霧は行わない。</li> <li>金属腐食性が強く、錆びが発生しやすいので、金属には使えない。</li> <li>汚れ（有機物）で消毒効果が低下する。このため、嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。</li> <li>脱色（漂白）作用がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸性物質（トイレ用洗剤等）と混合すると有毒な塩素ガスが発生するので注意する。</li> <li>吸引、目や皮膚に付着すると有害であり噴霧は行わない。</li> <li>ステンレス以外の金属に対して腐食性があるので注意する。</li> <li>汚れ（有機物）で消毒効果が低下する。このため、嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。</li> <li>衣類の脱色、変色に注意。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口毒性が高いので誤飲に注意する。</li> <li>一般の石けんと同時に使うと効果がなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>刺激性があるので、傷や手荒れがある手指には用いない。</li> <li>引火性に注意する。</li> <li>ゴム製品、合成樹脂等は、変質するので長時間浸さない。</li> <li>手洗い後、アルコールを含ませた脱脂綿やウェットティッシュで拭き自然乾燥させる。</li> </ul>
有効な病原体	全ての一般細菌、真菌、結核菌、ウイルス（※2 新型コロナウイルス（手指には使用不可）を含む）	大腸菌、サルモネラ菌、セレウス菌（芽胞）、カンピロバクター属菌、腸球菌、緑膿菌、黄色ブドウ球菌、モルガネラ菌真菌、※2 新型コロナウイルス（手指への使用上の効果は確認されていない）	全ての一般細菌、真菌、※2 新型コロナウイルス（手指への使用上の効果は確認されていない）	全ての一般細菌、結核菌、真菌、一部のウイルス（※2 新型コロナウイルスを含む）
消毒薬が効きにくい病原体			結核菌、大部分のウイルス	ノロウイルス、ロタウイルス等
その他	・直射日光の当たらない涼しいところに保管。	・冷暗所（15℃以下）に保管。	・希釈液は毎日作りかえる。	

※1 通常の衛生管理における消毒については、消毒をする場所等に応じ、医薬品・医薬部外品として販売されている製品を用法・用量に従って使い分ける。ただし、糞便や嘔吐物・排泄物、血液を拭き取る場合等については、消毒用エタノール等を用いて消毒を行うことは適当でなく、塩素系消毒薬を用いる。

※2 新型コロナウイルスの消毒、除菌方法に関する、上記消毒薬の使用法の詳細については、「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ）」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html) を参照してください

### <塩素系消毒薬の希釈方法>

- 次亜塩素酸ナトリウム（製品濃度が約6%の場合）、亜塩素酸水（製品濃度が0.4%の場合）の希釈方法は、以下のとおりである。なお、使用する製品の濃度を確認の上、用法・用量に従って使用することが重要である。

表4 次亜塩素酸ナトリウム及び亜塩素酸水の希釈方法

	消毒対象	調整する濃度 (希釈倍率)	希釈法
次亜塩素酸 ナトリウム	・糞便や嘔吐物・排泄物が付着した床・物 ※衣類等に糞便や嘔吐物・排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.1% (1000ppm)	水1Lに対して約20mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ2杯弱)
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.02% (200ppm)	水1Lに対して約4mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ0.5杯弱)
亜塩素酸 水	・糞便や嘔吐物・排泄物が付着した床・物 ※衣類等に糞便や嘔吐物・排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.2% (2000ppm)	水1Lに対して約500mL
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.05% (500ppm)	水1Lに対して約125mL

- 熱湯での希釈は行わない。
- 塩素系消毒薬の希釈液は、時間が経つにつれ有効濃度が減少することに留意する。
- 製品によっては、冷暗所に保管するよう指示があるものがあり、指示に従い適切に保管することが必要となる。

## <消毒方法について>

保育所において遊具等の消毒を行う場合には表5を、手指の衛生管理を行う場合には表6を参照すること。

表5 遊具等の消毒

	普段の取扱のめやす	消毒方法
ぬいぐるみ 布類	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に洗濯する。</li> <li>陽に干す（週1回程度）。</li> <li>汚れたら随時洗濯する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糞便や嘔吐物・排泄物で汚れたら、汚れを落とし、塩素系消毒薬の希釈液に十分浸し、水洗いする。</li> <li>色物や柄物には消毒用エタノールを使用する。</li> <li>※汚れがひどい場合には処分する。</li> </ul>
洗えるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的流水で洗い、陽に干す。</li> <li>乳児がなめるものは毎日洗う。</li> <li>乳児クラス：週1回程度</li> <li>幼児クラス：3か月に1回程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糞便や嘔吐物・排泄物で汚れたものは、洗浄後に塩素系消毒薬の希釈液に浸し、陽に干す。</li> <li>色物や柄物には消毒用エタノールを使用する。</li> </ul>
洗えないもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的湯拭き又は陽に干す。</li> <li>乳児がなめるものは毎日拭く。</li> <li>乳児クラス：週1回程度</li> <li>幼児クラス：3か月に1回程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糞便や嘔吐物・排泄物で汚れたら、汚れをよく拭き取り、塩素系消毒薬の希釈液で拭き取り、陽に干す。</li> </ul>
砂場	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂場に猫等が入らないようにする。</li> <li>動物の糞便・尿は速やかに除去する。</li> <li>砂場で遊んだ後はしっかりと手洗いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掘り起こして砂全体を陽に干す。</li> </ul>

※塩素系消毒薬の希釈液の作成方法については表4を参照。

表6 手指の衛生管理

通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>石けんを用いて流水でしっかりと手洗いする。</li> </ul>
下痢・感染症発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>石けんを用いて流水でしっかりと手洗いした後に、消毒用エタノール等を用いて消毒する。</li> <li>手指に塩素系消毒薬は適さない。</li> <li>糞便や嘔吐物・排泄物の処理時には、使い捨て手袋を使用する。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、清潔な個別タオル又はペーパータオルを使う。</li> <li>食事用のタオルとトイレ用のタオルを区別する。</li> <li>利便性の観点から、速乾性手指消毒液使用も考えられる。</li> <li>血液は使い捨て手袋を着用して処理をする。</li> </ul>

## <消毒薬の管理、使用上の注意点>

- 消毒薬は、感染症予防に効果があるが、使用方法を誤ると有害になることもある。
- 消毒薬の種類に合わせて、用途、希釈法等の正しい使用方法を守ることが重要である。
  - ・消毒薬は子どもの手の届かないところに保管する。
  - ・消毒薬は使用時に希釈し、毎日交換する。
  - ・希釈するものについては、濃度、消毒時間を守り使用する。
  - ・ペットボトルを利用して希釈するときは、特に誤飲に気を付ける。
  - ・消毒の実施時は子どもを別室に移動させ、消毒を行う者はマスク及び手袋を付ける。
  - ・使用時には換気を十分に行う。
  - ・血液、嘔吐物、下痢便等を十分に取り除いてから、消毒を行う。
- 消毒薬を間違えて使用しないように、容器の色分け等の工夫が重要である。